

クローバー・リーフ・タイムス

CLOVER LEAF TIMES

第13号

2001年3月15日発行

アニバーサリー特集号

発行：千葉県千葉市
クローバーリーフ
スクエアーズ

盛大に開催！！

第34回アニバーサリー

記念すべきミレニアム2000年のアニバーサリーは4月16日、例年と同じ千葉県労働者福祉センターにて開催されました。

当日は、ゲストにスクエアナインズの上野敏文氏をお迎えし盛大に行われました。お天気もまずまず、参加人員も546名で、ほぼ予想通り(?)でした。

メインゲスト以外にも、超一流コーラーの方々多数の参加を頂き、次々と楽しいチップの連続で、相変わらずホールは入りきれない程でした。やさしいベシックでもスピードに変化を加えたり、少し崩れると待って下さったり、雰囲気作りも素晴らしいものでした。ゲストコーラーのワイヤレスマイクを使用し会場を歩いたり、セットに割り込み、踊りながらのコール等の演出は意外性があり印象的でした。

そして、嬉しいことは、新しいコスチューム姿の会員さんが、あちこちのセットで少し緊張されながらも

楽しそうに踊っていらっしやることでした。まだまだ楽しいところまで行かなかったかもしれませんが、デビューの時より、2回、3回と回を重ねる毎に、自然と踊れるようになるものです。これからは他のサークルのアニバーサリーにも参加して、みんなで楽しみましょう。

最後に一番嬉しかったことは、会員全員の一致協力のもと無事にアニバーサリーが成功裡に終わったことです。お疲れさまでした。また、他のクラブの方々の応援やご協力を頂きましたことに感謝いたします。

次会35回のアニバーサリーも頑張りましょう。

(M.O.)



初めてのアニバーサリーに参加して

第42回卒業生 金田秦政・和子

入会して6ヶ月（うちビギナー期間4ヶ月）で最初に迎える本格的な行事（アニバーサリー）は、駆け出しのSDダンサーにとっては手強いものが感じられました。したがってこの手記はスクエア界のアニバーサリーを知らない者による「アニバーサリー初参加記」です。理解不足の点は目玉にみてくださいるようにお願いしておきたいと思います。

感想その（1）招待受諾に影響力発揮

パーティーの開催では、ゲストの招待受諾を早期にとることが一番難問ですが、新入会員の私たちには未だ意見を述べられる分野ではありません。そこで、ご同感の方も多と思われる一点だけ紹介させていただきます。

それは、アニバーサリーの後、妻の和子が、「クローバーリーフが千葉の名門というのは本当だね」という言葉をよく口にするようになったことです。アニバーサリー当日の会場を埋め尽くした来場者、その中にはSD界の著名人と思われる方の顔が多く見られたことなどからも、クローバーリーフの影響力を納得し、女性らしい直感力でクローバーリーフに高い評価を下していたのでしょう。

感想その（2）スナックの準備に手際のよさ発揮

スナック部門は、ちょっとした不手際からも混雑をおこし易く、細心の注意が必要な部署ですが、前月から各自が責任を持って与えられた役割を進め、無事に1日を乗り切ったように見えました。

☆付録

この手記をまとめるにあたって、必要があつて「46回ビギナー生卒業文集」をめくっていると、最終ページに目をひかれました。よく見てみると、頭文字をCとする四つのキーワードが出てきました。

最初のC 千葉のC

二番目のC 四つのカップルが強く結びついている

三番目のC クローバーリーフスクエアーズの頭文字

四番目のC 世紀（Century）のC

第34回アニバーサリーに参加して

竹内 花江

ビギナーを卒業して3ヶ月、4月16日私にとって初めてのアニバーサリーがやってきました。どうなるのか、かなり前からハラハラ・ドキドキの連続でした。

踊れなくとも参加することに意義があると自分を励ましたりして大変だったのです。あれだけ丁寧に教えていただきましたのに上手く踊れないなんて情けない限り。

当日は寒い日でしたが、県内はもちろんのこと他県からも多数の参加者でいっぱい。

一流のコーラーさんもいらしてくださり、広い会場は色とりどりの、しかも大輪の花が咲き乱れ、身動きできないほどで別世界にいたようでした。輪の中に入れてもらうのも一苦労でしたが、幸いに先輩方が手を差しのべてくださり何回か踊ることができました。

いつもと違うことは、慣れないこともあり、コーラーさんの声が速くてよく聞き取れないことでした。

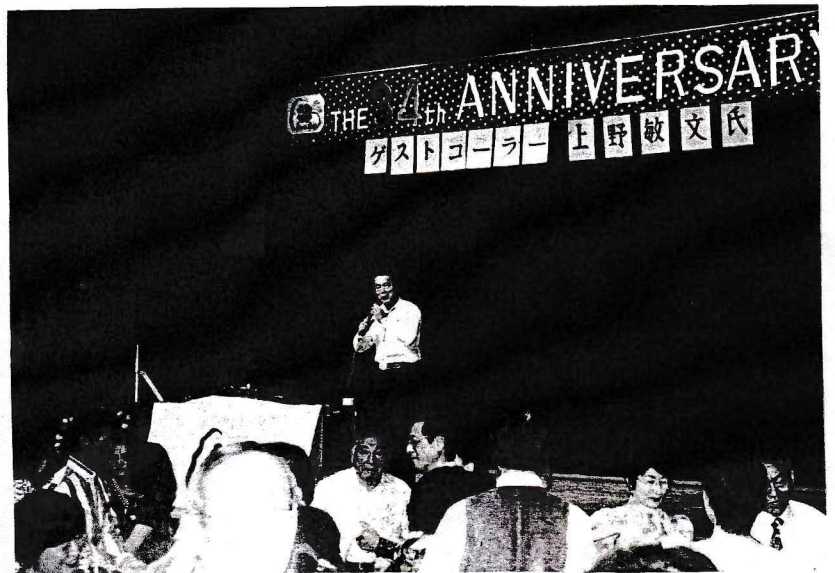
パツと動作の出でこないのが辛く、あわてると必ず間違える。そんな時は笑ってやりすごしたりして、もうパニック状態で頭の中の整理が追いつかないのです。

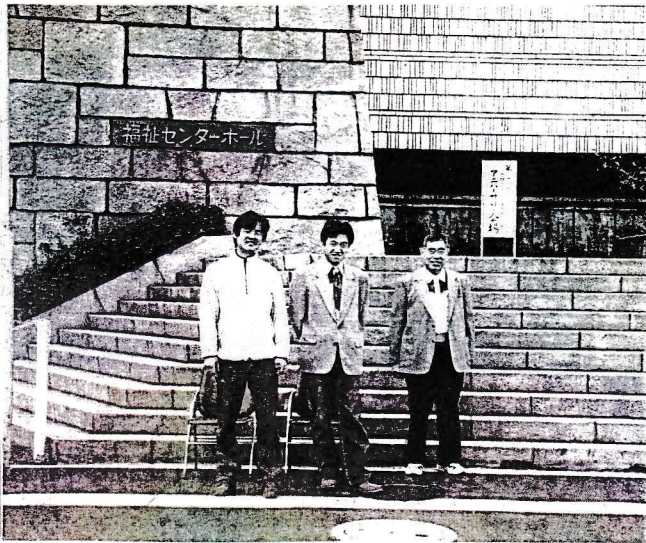
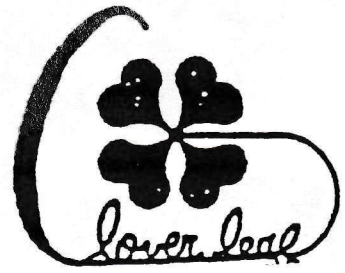
こんなことの繰り返しでしたが、皆様のおかげで当初の心配をよそに一日を楽しく過ごせました。ありがとうございました。

スナック当番は、勝手にわからずあまりお手伝いできず申し訳ございませんでした。へたでもめげずにプラス思考で続けるつもりです。

よろしく願いいたします。







「どじょう」と付き合って20年

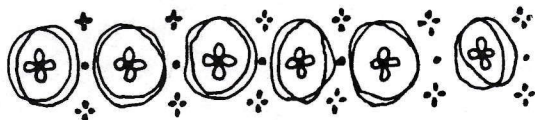
西山 隆文

今年の夏は大変な猛暑となり、私達クローバーのの例会も、大汗をかきながら踊りに夢中になっていました。

そんな8月20日！例年通り親子三代夏祭りが千葉市主催で開催されました。私達も目が眩むような暑さの中、パルコ前の特設歩行者天国に繰り出し、子供達を相手に20年このかた続けている「どじょうつかみ」を行いました。長年やっていると慣れっこになってしまいそうですが、これがなかなか楽しいのです。洋服が”びしょびしょ”になっているのもお構いなしで、追っかけまわす子！触るのを怖がる子！どの顔も一様に生き生きとした素晴らしい表情。この子達のどこに、「切れる」素質が潜んでいるのか理解に苦しむ思いです。

一口に20年-20回の中には、いろいろなことが起ります。前日に買い集めた「どじょう」が翌朝……酸欠で全滅になり、走り回って当日の開催に間に合わせた事件。

車の中で、息を引き取った「故どじょうさま」のおかげで、すっかり車がくさくさってしまった事……来年の夏もまた同じかと思うと、楽しいやら・ぞ～っとするやら。複雑な思いがします。



「千葉市社会教育功労者個人表彰」で窪園さん、西山さんが表彰されました。

平成12年11月11日、千葉市文化センターに於いて、授賞式が行われました。千葉市の青少年の健全育成に貢献したことが評価されました。両氏は長年にわたり市青年協議会の会合に積極的に参加され（特に成人式のきもの姿の女性は大好きで、親子三代夏祭りのどじょうとは仲良しです）、併せて、スクエアダンスの普及にも取り組んでこられました。

私達がこうしてスクエアダンスを楽しんでいるのも、お二人の明るさとお人柄と指導力によるものと感謝し、心からお祝い申し上げます。これからも、ずーっとよろしくご指導のほどを……。



== 第47回初心者講習会 ==

初めて講師を務めるにあたって

熊野 美佐子

自分が初心者として入ったときのことが思い出されます。早いものでもう9年も前になるのです。

（早く感じるのは年のせいかしら）

1年目はようやく理解できるようになってもコールから手足が反応するまでに古い人とは時間差があります。講習の間は待ってもらえても、ハッシュコール（色々混じってコールされる）になると、わかった頃には次のコールになり、今度は次のコールが聞き取れなくて頭が白くなって、引張られるままに動いていました。

今、講習も半ばを過ぎて、ビギナーのみなさんもこの状態ではないかと思えます。1つ1つをとってみると理解できているのに、ハッシュコールになると解らなくなる。これはもう慣れるしかないのです。

講習では動作を理解することを目標にしています。そのあと、ハッシュコールに慣れるには数回踊ることです。徐々に慣れていきますのであまり気にしないでください。

会員の方にもお願いいたします。会員の方が先に動く余計に白くなってしまいますので、ちょっと待ってあげてください。それで壊れてもまたラインを作って待っていただければいいのですから、後はコーラーの責任です。

また2週間休むと大変です。1回なら復習の時間でカバーすることが出来ますが、2回になるとカバーできません。休みが2回続いたときは、来たときに言って下さい。そのぶんも説明するようにしています。他の人にとってもそれはラッキーなことなので、遠慮することはありません。

ところで、ハッシュやシンギングのとき、聞き取れない言葉がでてくることがありませんか。例えば、アラマンド レフト「ユア レフト ハンド」とか、ライト アンド レフト「ターン ユア ガール」のようなのです。これはカウントをあらわすためにその動作を補足する言葉を言っています。知らない言葉は聞き流して下さい。おいおい解ってきます。

最近、ビギナーさんに、「スクエアダンス楽しいですか」と聞くと、みんな首を横に振ります。今はちょっと坂道かもしれませんが、この坂を越えたなら楽しいスクエアダンスの世界が開けます。もう少しです。私と一緒にがんばりましょう。

（広報部より）

この原稿は、平成12年度の初心者講習会が半ばをこえたところで、熊野さんから頂いたものです。すでに初心者講習会は終了しており、正式会員となられたみなさんは、次の段階に進んで踊り込みに励んでいらっしやることと思います。どうぞ、一生懸命だった初々しいあの頃を思い出して、お読みください。掲載が遅れましたことを、深くお詫び申し上げます。



駿河の旅（静岡フレンドサークルパーティー記）

ZONO（くぼぞの）記

「旅ゆけば駿河の国に～」ということで、夏盛りの7月28日から2泊3日で静岡フレンドサークル（女性だけのサークル）の20周年アニバーサリーにクローバーから総勢9名参加しました。

私としては、ひさしぶりの静岡&2泊3日の本場アメリカのコーラーのパーティーで半年以上前からこづかいを節約し（涙ぐましい努力）、100%以上楽しめる企画を考えながら？ わくわくどきどきしながらいざ出発。

まずは、往路〜〜〜天気は小雨模様、少し不安の中でまずまず順調に、熊野車ほかで進み、昼過ぎに静岡に到着したころは、どしゃ降り状態でした。しかし、会場のホテルに入ると、ゲストコーラーのディディとマイクのコールで、さすが本場のコールが聞こえて身体がうきうき、早速着替えて踊りに会場に直行。

まずはディディ（迫力のある女性コーラー）のコールで足慣らしをしたのですが、まわりをみるとほとんど壊滅状態で、理由は彼女は英語が南部なまり（日本でいえば東北弁）、かつ日本語英語に慣れたお母様でした、ほとんど立っているだけでした。

それでもさすがプロコーラー、徐々に踊れるようになり、男性ゲストコーラーのマイクのほうは、全米コーラー協会会長で聞き易い英語、ともに日本でのパーティーであまり味わえない素晴らしいコールを味わいました。

夜になるとアフターパーティー、当地のブルーグラスバンドの演奏をバックに食事をしたのですが、バンドとクローバーの席（会長を除き）は、会場の端と端で、まったく別世界。

しばらくして、ゲストがバンドにあわせて歌い出すと、段々ゲストの近くに移動し（私は少し恥ずかしかった）気がつくといつものまにか、ゲストの周りで一緒に歌を歌って、大いに盛り上がり、すぐそばに会長の長東さんがいたので、思わず熱い抱擁？

歌も終わり席につくと、クローバーの会長は食事がゲストのそばでしたので、ゲストと一緒に写真をとる順番で、いつものように仕切っており、私たちも便乗して、ゲストと一緒に「はい、チーズ」。

こうして、ゲストの後を追いつつ、MS、P、A、Dと2会場を行ったり来たり、2日間ダンスを踊りまくり、そのなかでのさすがと思わせる「長東一家」の統率のとれたエキジビションダンス、また夜中の部屋での2次会で、カントリーの島ちゃんを迎えて、いろいろな話を聞き、クローバーで、またファンがふえたのではと思います。

3日目はせっかくここまで来て富士山を見なければとの企画で、会場をあとに、朝から富士山周辺をドライブしに、いざ出陣したのですが、すごい雨。

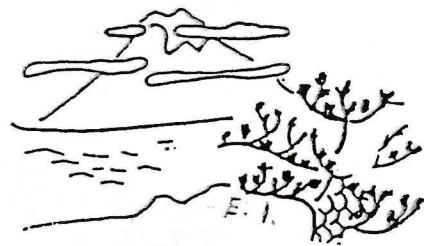
しかし、日頃の行いのせいかな？ 予定していた見学場所

に行くのと、ぴたりと雨が止み、少し晴れ間もみえ、そして、また車にのると、雨、あめ、アメでした。

2泊3日の駿河の旅、富士山が見えなく残念でしたが、それ以外は満足したような？

そして、家に到着したのは、次の日になっていました。

参加した方、どうもお疲れさまでした。



スクエアダンス・コンベンション 札幌大会に参加して

坂本 れい子

8月11日、予定より15分遅れのAIR-DO11便は、満席の乗客を一路新千歳空港まで、エンジン震回転という感じで飛行してくれました。涙雨で迎えてくれた札幌も、後の二日間は晴天で、とても暑い毎日でした。

真駒内は、札幌オリンピックのスケート会場の所で、緑が多く、今では落ち付いたベッドタウンになっておりました。また、グリーンホテル札幌は一般客も居りましたが、スクエアダンス一色といった感じで、にぎわっておりました。

さて、ダンスの方はというと、大ホールをMSとPに仕切り、別にB、A&Cという様に四ヶ所の会場が設けられており、ゆったりと踊ることが出来ました。しかし、ベテラダンサーは上級クラスに行ってしまったためか、又は男性と男性役が少なかったのか、MSとしては、パートナーを探すのに大変でした。そんななか、何といっても、熊野さんの『クマちゃんルック』で、付髪をしてコールをしてくださいました事、とてもチャーミングで良かったです。又、八百幸さんの演歌コール『好きになった人』の印象がとても強かったです。いずれも楽しく踊ることが出来ました。

もう一つ、楽しみにしていた食事は、着いたその日の昼食に、「かに本家」で、二日目の夜は「サッポロビール園」のバイキング、三日目の帰路に着く前に、すすきの「氷雪の門」でのかに会席と、かに三昧で、大いに満喫してきました。これも、荒武さんが取りはからって下さったためと感謝しております。旅行する予定の無い私には、良い思い出となりました。

大会終了後、当クラブの会長と、諸先輩の皆様は、さらに北へと旅立って行かれました。



Canada Convention 2000

に参加して！

石原 栄子

一度は参加してみたいと思っていた、インターナショナルコンベンション。

一昨年三月、山咲先生がカナダに留学される時に、“下見をしてから2000年にみんなで行きましょう！！”と話されておりました。昨年七月、アニバーのアフターで具体的に伺って、楽しみに待ちました。途中、何度か言葉の不安とパートナーのこと、本当に踊れるかなあーと悩みましたが、“大丈夫”と励まされて、いよいよ出発日。

コーラーが山咲さん、和田さん、磯辺さんと三人もおられ関東だけではなく、札幌や松山、宝塚の方々の参加もあって40名のツアーとなりました。

7月19日の午後、成田での出発式のあとバンクーバーに向って飛び立ちましたが、おしゃべりに夢中になり、ほとんど眠らずにバンクーバーに7月19日の朝(時差)到着。いつもなら、まだ寝ている夜中なのに、そのまま一日観光に出かけ、クイーンエリザベスパークや、長いキャピラノ吊り橋で遊んで、夕方ホテルに着きました。今回のコンベンション会場である、カナダブレイス隣接のパンパシフィックホテルだったことはラッキーでしたが、休む時間もなく、慌てて着替えて前夜祭に駆けつけました。

日本のパーティーも以前はそうだったように、RDとSDが交互に進められました。御夫婦での参加が多く、RDも皆さん楽しそうに踊っておりました。

。ただこの国でも、若い人の参加は薄れているようです。ソロの申し出はしなかったため、メンバーの中でペアを作り踊りましたが、女性同士の時はRDはやめてSDだけにしました。でもやはり“**You're boy?**”と不思議そうに何度か問われました。前夜祭を終えて、食事を済ませベッドに就いた時は、もう7月20日になっており、思いがけず徹夜で取り組んだ長い一日でした。

コンベンションの一日目は、レベル別に分けてある会場内を覗き回りました。アメリカの1/3程度の規模だということで、ショップもワンフロアだけでした。今回は、スケファンで一緒のFさんに組んでもらい、ほとんどC1で過ごしました。どちらかというと、イズイで私にも楽しく踊れましたが、素晴らしいイントネーションに戸惑い、セットを何度か壊してしまいました。逆に、山咲さんのコールの時は、セットに誘われて、“**You're good dancer!**”と抱きつかれるハプニングもありました。

二日目は山咲先生のコールが夕方までないからと、ダウンタウンの案内をしてもらいました。お昼はお友達(カナダ人)のお薦めという寿司屋さんに行きましたが、ボリュームの多さに驚きました。

テイクアウトにしてくれたため、残りは夕食に。初めて食べたアボガド入りの海苔巻きは意外と美味しかったです。

三日日もガイドブックを頼りに半日、同室のKさんとショッピングを兼ねて出かけました。ウインドーには日本語が目立ち、日本語の話せる店員さんも必ずいて、外での言葉には全く困りませんでした。

コンベンションフィナーレのセレモニーでは、全員お決まりの祭り半纏を着け、磯辺さんご夫妻がパレードに参加しました。日本での高瀬会長風の長い挨拶もありましたが、これは言葉がちっとも解りませんでした。

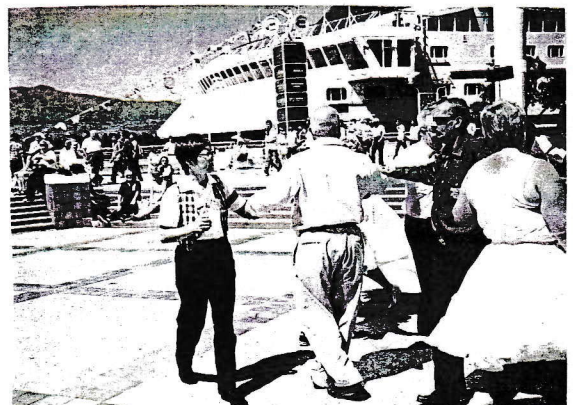
コンベンションを終え、今回の観光のメインであるカナディアンロッキーにむけて、バンフに移動しました。バックにロッキーの山々が映り、軽井沢にも似た街並みのバンフは、のんびり落ち着ける小さな町でした。24日は天候にも恵まれて、一日カナディアンロッキーの観光へ。たくさんの動物に会えることを期待したのですが、残念ながらマウンテンゴートが見ただけでした。でもレイクルイズのエメラルドグリーン湖に映る、氷河の山々の姿は想像以上の感動でした。雪上車に乗り換えてコロンビア大氷原に登り、和田さんのコールでSDを踊ってきました。夕食は、もう口にするのではないだろうか？アルバータ牛のステーキだったので、奮発してアイスワインを飲みました。

いよいよ最終日、カルガリーに移りお別れ夕食会の後、また慌てて着替えて、山咲さんのセッティングしてくれたカルガリーSDグループとの交歓会に参加しました。この日のためにバンフのホテルで練習した“春駒”を祭り半纏を着けて披露しました。手作りの大きなカントリークッキーで大歓迎を受けましたが、会話がままならず、ちょっと悔しかったです。ホテルに戻り、荷造りをしてベッドに入った時は、またもう夜中でした。早朝にホテルを出て、バンクーバー経由で帰路に。成田では、横浜での再会を約束して皆さんと別れました。

もう少しのんびりできる余裕が欲しかったなあー、と感じたハードなスケジュールでしたが、山咲さんと和田さんの工夫を凝らした素敵なプランニングで、楽しい旅が出来ました。もう既に、来年(2001年)のアメリカ、ドイツのコンベンションのチラシが巻かれています。”出来たらまた～”の心境です。

ぜひ、クローバーでもツアーを組みませんか？

(H12. 11記)



==市青年協議会主催==

青年の為のスクエアダンス講習会

西山 隆文

昨年に続き、千葉市青年協議会が主催の若者向けのSD講習会が、9月28日から始まりました。昨年は参加者3名で、途中骨折が原因で1名やめ、残った女性2名も、本体と合流を期に止めてしまいました。

今年は5名の参加を得、皆さんとても明るく素敵な方が集まってくれました。若さの為か、講習もスムーズに進んでいます。今年も、クローバー本体に合流しようと考えていますが、なんとかズ〜ッと続けてくれると

”いいな”と思いながら、毎週を過ごしています。20〜30才前後の若い人と私との間に多少の感性・趣味のギャップは否めず、会員の中では通じるジョークも全く通用しないので、すっかり回転しなくなった頭を、フル回転。楽しいけれど疲れる講習会です。

今回の参加者が次回に新たな若者を引き込む原動力になってくれるとバランスの良い、もっとすばらしい例会になるな〜と思うのは、私だけでしょうか！

(H12年11月 記)



踊りある記

松本 憲典

沼津駅から、お迎えのバスで、沼津市内のやや高台にある静岡厚生年金休暇センターへ向った。行程約20分であったが、茶畑のそこここがつぶされて、粗大ゴミ、廃車、古タイヤ等が山をなしている。緑がゴミに侵食されつつあるという印象を強く受けた。

センターに到着。今日、明日は「はまゆう祭」、沼津SDCの30周年記念パーティーだ。宿泊者が約100名、両日の日帰り参加を加えて44団体228名参加の旨の報告があった。

SDとRDの三会場があり、SDは広い体育館があられているので、人にぶつかる心配もなく、広々と楽々と踊れるスペースを楽しんだ。東京近辺での芋の子を洗うような混雑した会場に比べると、天地、雲泥の差というべきであろう。

ゲストは原井、荒木、井口の各氏と伊藤御夫妻であり、ふだんは接するチャンスのない広島で御活躍の二人のゲストコーラーのダイナミックな、かつ新鮮なムーブメントを満喫させていただきました。

例えば、ノーマルなフェイスングライズから「レディースリードダブルパススルー」。始めて聞くコールですが、皆さんどう動けば良いかお分かりですよネ…??

実はかなりのセットがつぶれてしまいました。

顔見知りのダンサーは2割もいません。特に今回は、日曜日が関東甲信越ジャンボリーとバッティングしているので、知合いが少ないのです。でも中には、土曜の夜

引き揚げて日曜日は前橋へという感心な人も何人かいました。

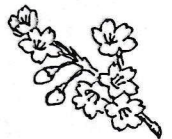
初日は22時まで踊って、22時半から二次会があり、あとは、いくつかの部屋で三〜四次会があったようで、明け方まで賑やかなことでした。それでも翌朝7時からのモーニングダンスに参加して、寝るヒマがあったのかなと心配させられる方もいました。元気なものですネ。

沼津SDのメンバーで特筆すべきことは、男性比率の高い事。デモンストレーションでRDを披露していただきましたが、16カップルの他に男女数人が残っていたので、おそらく男性比率は45%前後であろうと驚きました。

天候の具合で、富士山は見えませんでした。楽しく過ごさせていただいた二日間であったと御報告させていただきます。

これからの予定

- H13.3.18 (日) 千葉県SDジャンボリー
- H13.3.21 (水) マイケル歓迎パーティー
- H13.4.7 (土) お花見
- H13.4.15 (日) 第35回クローバーリーフアニバーサリー
- H13.5.12 (土) より プラス初心者講習会
- H13.5.18 (金) ~20 (日) 支部ジャンボリー (長野)



☆編集後記☆

今年は寒いですね。温かいはずの千葉で何度も雪景色をみることができ、自然の造り出すすばらしさを満喫しました。そこここに紅梅も咲き始め、春もすぐそこです。今年もお仕事にダンスに頑張りましょう。

さて、皆様にお忙しい中ご協力いただき、貴重な原稿を頂いておきながら、諸々の事情により記念すべき2000年に発行できなかったことを、深くお詫び申し上げます。去年にタイムスリップして、記憶力テストを兼ね、ご一読頂けたらと思います。今年からはまた新たに、なるべくタイムリーに発行していく所存でございますので、何卒これからも、ご投稿、ご意見などお聞かせ下さいますようお願いいたします。

広報係一同

